



所在地.....千葉県君津市外箕輪4-1-16  
 面積.....172㎡ (52坪)  
 ユニット.....5台  
 スタッフ.....歯科医師常勤2名、非常勤1名、歯科衛生士常勤2名、非常勤2名、歯科助手3名、トリートメント・コーディネーター1名  
 患者数.....1日約35名 (うち5名がメンテナンス)  
 診療時間.....9:00～12:30、14:00～18:00  
 休診日.....木・日・祝日

## 患者さんからの感謝を糧に 一致団結して地域医療に貢献

白壁に大きな赤い「歯」の文字。「しらとり歯科」は、遠くからも一目で歯科医院だとわかります。院長の白鳥智也先生にうかがいました。

### 治療を完結できるのが魅力

#### ●開業のいきさつを教えてください。

「私は近くの千葉県市原市出身です。地元の方のご紹介をきっかけに郊外の住宅街で開業して、地域に貢献したいと思いました」

#### ●「歯」の看板が印象的ですね。

「前の道路を通行する車や人に、歯科医院ができたことを知ってもらうため、また院内の雰囲気を知ってもらえるように窓も多くしました。院内は、動線分離になっていて、別々の扉から半個室のユニットに入れます。また、女性をターゲットにしていますので、トイレは男女別にしました」

#### ●歯学部の前に薬学部で学ばれたそうですが。

「薬学部にて在籍のまま歯学部の試験を受け、合

格しました。歯科は自分の力で治療の結果が出せ、完結するので、おもしろいと思ったのです」

### 治療・審美・メンテナンスを柱に

#### ●診療方針はどのようにお考えですか。

「『いつまでも健康で美しくありたい、というあなたの気持ちにこたえます』と掲げています。きちんとした治療を行い、患者さんの口腔内を健康に導いていく。美しいという審美的な面も満足していただく。そして、その状態をキープする。治療と審美と予防・メンテナンス、この3つが診療のコンセプトです」

#### ●その思いは実現していますか。

「難しいですね。まだまだ治療の需要がたくさんあります。審美的なニーズは患者さんによってまちまちです。メンテナンスについては、治療が終わった8割の方に来ていただいている、歯科衛生士専用のユニットを2台に増やしました」

#### ●とくに力を入れている診療は何ですか。

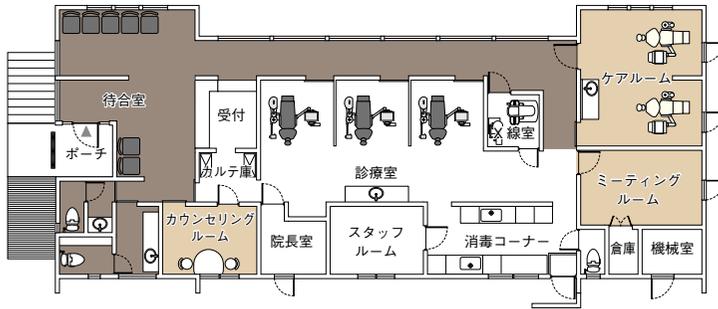
「義歯にはこだわっています。義歯製作が好きなことと、患者さんからの要望も多いからです。歯科技工士と密に連携し、よい義歯を提供できるように努めています。また、フルマウスの矯正治療も積極的に行っています。一般治療と融合させ



Tomoya SHIRATORI

### 白鳥智也

1972年、千葉県生まれ。2000年、鶴見大学歯学部卒。神奈川県、千葉県の歯科医院で勤務後、2009年、現在地で開業。趣味は旅行。



▲院内見取り図。動線分離の設計で患者のプライバシーを確保。シックなデザインにより、落ち着いた大人の雰囲気が漂う



▲清潔感溢れる受付とディスプレイラック

た矯正ができたほうがよいと考えています」

## マネージャーの役割は大

### ●ミーティングはどのように行っていますか。

「準備と申し送りなど朝のミーティングを毎日8時半から、月1回は半日を使って、歯科助手も含めて全体ミーティングを行っています。学術的な知識の向上だけでなく、診療が円滑に進むような仕組みづくりが目的です。また月1回、主任の歯科衛生士の渡邊真由子とトリートメント・コーディネーター (TC) の妻・真理がスタッフと面談を行っています。スタッフが10名近くになると、院長との間にワンクッションが必要だと思います」

### ●真理さんの役割は大きいですね。

「TCのほか、マネージャーとして、採用、経理、カウンセリング、受付、在庫管理などを任せています。そのぶん私は治療に集中できるので、たいへん助かっています。最近、妻のアイデアでスタッフ全員が年間と月間の個人目標を立てるようになりました。課題がはっきりして、それぞれが来月は達成できるようにと頑張っています」

### ●歯科衛生士に望むことはありますか。

「原則、患者担当制にしていますので、思っていることを何でも話してもらえる患者さんに近い存在になってほしいですね。全員が既婚者ですので、仕事と家庭の両立が大切です。子どもが熟を

### ▶予防専用の個室ケアルーム



出したら保育園に預けられないのを承知で雇用していますので、お互いさまで頑張るといよいよ雰囲気になっていると思います」

## 結婚・出産後も活躍してほしい

### ●歯科衛生士にエールをお願いします。

「歯科衛生士不足といわれており、結婚・出産後も活躍してもらわないと数が足りませんし、良質な歯科医療の提供が難しいと思います。当院の歯科衛生士たちは一から勉強する気持ちで復帰していますので、勉強の場を与えるために、フリーランス歯科衛生士の黒川 綾さんに月に2日間、スタッフ教育をお願いしています。研修後はモチベーションが全然違います。頑張ろうという歯科衛生士には、医院も支援を惜しみません」

### ●今後の抱負をお聞かせください。

「メンテナンスに通ってくださる患者さんが増えてきており、患者さん全体の半分くらいにしたいと考えています。実現のためには、歯科衛生士の力が大きく、その過程ではやりがいも感じられると思います。そのためには、私自身ももっと勉強して、診療の幅を広げたいと思います」



▲診療中の白鳥院長とアシストにつくチーフの渡邊さん



▲メンテナンス中の田中さん。休み時間に口腔内撮影を練習する努力家



▲TCの真理さん(左)と次回アポイントの打ち合わせをする荒井さん



**渡邊真由子 (DH歴12年)**

歯科衛生士  
1981年 千葉県生まれ  
2002年 北原学院歯科衛生専門学校卒  
2011年 しらとり歯科に勤務  
趣味: 買い物、ドライブ

歯科衛生士は好きでしたが、とくに目標ももたず、結婚を機に一度退職しました。4年半のブランクを経て、当院で復帰しました。ここでは歯科衛生士の価値を高く評価してくださるので、仕事が楽しいと思いつい始め、いまはやりがいを感じています。

主にスケーリング、SRP、TBI、PMTCなどを担当しています。最近、歯周基本検査を行い、その結果を踏まえて歯周病について説明し、患者さんにきちんと理解していただいてから治療に入るようにしています。SRPなど全般的に技術を磨いていきたいですね。歯周病が改善して患者さんと喜びを分かち合えた

ときや、患者さんに寄り添いながら治療して、信頼が深まったと思えたときなどにやりがいを感じます。昨年の秋にチーフになりました。院長やTCの真理さんの思いを伝えたりする、スタッフをまとめる役ですが、まだ手探り状態で奮闘中です。

仕事に復帰したときは、子どもが4歳と2歳でした。最初は子どもと離れるのにかなり抵抗があったのですが、子どもたちと触れ合える時間が少ないぶん、一緒にいるときはかかわりが濃くなって、オン・オフの切り替えがうまくできるようになりました。

患者さんに対する接し方も変わりました。以前は、「忙しいからフロスできない」と言われたら、「何で?」という思いが心の片隅にあったのですが、現在はどうすれば時間が作れるのかを患者さんといっしょに考えられるようになりました。

歯科衛生士の仕事がここまで好きになるとは思わなかったです。フリーランスDHの黒川さんのように、結果を出せる歯科衛生士になりたいですし、君津の町のみなさんの健康を守っていければと思います。



**田中幸子 (DH歴16年)**

歯科衛生士  
1977年 長崎県生まれ  
1998年 福岡医科歯科技術専門学校卒  
2012年 しらとり歯科に勤務  
趣味: ショッピング、読書

結婚してすぐに夫の仕事の関係で千葉に来ました。夫の夜勤の仕事の邪魔にならないように、早朝のコンビニ、その後ラーメン屋さんで働いたので、7年のブランクがありました。歯科衛生士の仕事には、コミュニケーション能力も必要だと感じていたのですが、得意な分野ではなかったのですが、接客業に飛び込んだのです。つかめたのは、相手との距離感です。コミュニケーションをできるだけとったほうが、相手に親近感をもってもらえるなど、とても勉強になり、その経験はいまの仕事に生きています。

院長は、スタッフや患者さんに対する教育など、すべてのことに一生懸命です。患者さんにいかに最善の治療ができるかを常に考えているのは素晴らしいと思います。スタッフには苦手なところを注意するのではなく、できないところを聞いて、アドバイスしてくれます。

子どもが4歳で、いまはパート勤務です。大変だと感じるときはありますが、患者さんに「ありがとう」と言われるとやりがいを感じます。子どもが急に熱を出して休むときも、周囲の理解があり、助かっています。子育てで身につけた忍耐力と精神力が役に立っていると思います。

最近ようやく、患者さんの性格に合わせた接遇ができるようになりました。私の年間目標は、「敬語を勉強して使いこなせるようにする」、「自費の補綴コンサルをできるようにする」です。知識を増やし、技術を高め、患者さんからの質問に何でも答えられる歯科衛生士を目指したいですね。



▲フリーランスDHの黒川 綾さん(右)の指導による院内研修会の様子

▶一致団結し、地域医療に貢献するしらとり歯科のみなさん



**荒井美咲 (DH歴12年)**  
 歯科衛生士  
 1981年 神奈川県生まれ  
 2002年 横浜歯科技術専門学校卒  
 2013年 しらとり歯科に勤務  
 趣味:DIY(日曜大工)

小学2年生のころ、神奈川県立歯科大学に矯正治療で通っていました。先生や歯科衛生士となかよくなって、高校で進路を決めるときには、歯科の道に進もうと考えていました。

最初の歯科医院に9年間勤務後、結婚を機に自宅から近い医院に移り、夫の転勤で千葉に引っ越してきました。当院は教育カリキュラムがきっちりあって、何もわからずに入ってきたスタッフにやさしいと感じました。

仕事にはとてもやりがいを感じています。メンテナンスで長期間、同じ患者さんの経過を診ていくと、患者さんの生活の一部になっていると実感すること

があります。最初の歯科医院を辞めるとき、メインテナンスの患者さんからお手紙をもらって、こんなに価値を置いてくれていたのだと初めて気がつき、重要な仕事だと思いました。

院長は、とてもまじめで、いい加減なことは言いません。ですから、私も患者さんに真摯に向き合っていくことを心がけています。患者さん一人ひとりと付き合っていて、引き出しを開けていくという感覚です。患者さんに必要な場で必要な知識を提供することで、長い目で見て1つずついろいろなことに気づいてくればと思います。

入ってまだ日が浅く、週3~4日のパート勤務なので、担当の患者さんはまだ少ないのですが、予約がメンテナンスで埋まるようにしていけたらと思います。いろいろな勉強してきたはずですが、長く臨床の場に携わっていると、だんだん引き出しが閉じていってしまうのではと感じています。2ヵ月に1回、フリーランスDHの黒川さんを招いて勉強会をしていますが、学んだことをフルに臨床に生かしていくことがいまの目標です。



**堀切麻里子 (DA歴2年)**  
 歯科助手・学生  
 1994年 千葉県生まれ  
 2012年 太陽歯科衛生士専門学校入学  
 2012年 しらとり歯科に歯科助手として勤務  
 趣味:書道

いまは太陽歯科衛生士専門学校夜間部の2年生です。進路を決める時期に観た、世界の貧しい子どもたちが歯医者へ通えずに歯を失っているというNHKのドキュメンタリー番組が心に響き、学校の先生に相談したら、「歯科助手として働きながら専門学校に通えば」とアドバイスをもらいました。

入学と同時に働き始めましたが、初めは敬語を使

うのが難しく感じ、コミュニケーションが苦手でした。いまでは、休日でも敬語を使うようになり、成長していると実感しています。

先輩方は優しく、患者さんからとても好かれています。学校の実習ではかの歯科医院にも行ったので、当院のよさがわかりました。患者さんへ郵送する「しらとり歯科通信」では、「マリコ様の衛生士への道!」を連載しており、好評をいただいています。

学校の授業では、介護の勉強に興味があります。これからは歯科衛生士業務だけではなく、矯正なども勉強していきたいと思っています。いつの日か目標としている3人の先輩を超えられたらと思っています。

DHstyle編集部では、当コーナーでとりあげてほしい歯科医院を募集しております。自薦他薦は問いませんので、E-mail (dhstyle@dental-diamond.co.jp) でお知らせください。